



資料提供年月日	令和4年9月29日		
問い合わせ先	課名	文化振興課	
	電話	803-1054 (内線3749)	
担当者	担当者	担当課長 主査	安東 萬成

広 報 連 絡

<市長定例記者会見資料>

- 1 件 名 岡山芸術創造劇場ハレノワのプロデューサー就任について
- 2 概 要 岡山芸術創造劇場ハレノワの指定管理者である公益財団法人岡山文化芸術創造が令和4年10月1日付けで、プロデューサーとして 渡辺 弘 氏を採用します。

※ 渡辺 弘 氏のプロフィールは、添付の資料をご参照ください。

※詳細についてのお問い合わせは、公益財団法人岡山文化芸術創造 法人本部
高次、荒島までご連絡ください。

TEL. 234-2001

※ご本人への取材は、10月3日（月）以降にお願いします。



岡山芸術創造劇場 ハレノワ

2023.9.1 GRAND OPEN

渡辺 弘（わたなべ・ひろし）

【略歴】

- ・1953 年、栃木県生まれ。
- ・1980 年より情報誌『シティロード』の編集などを経て、演劇ジャーナリストとして活動。
- ・1984 年、西武百貨店に入社し「銀座セゾン劇場」の開業準備、1987 年開場より制作業務を行う。
- ・1989 年、東急文化村に入社し、Bunkamura 開業準備に携わり、開場後は「シアターコクーン」の運営、演劇制作を行う。
- ・2003 年より長野県松本市の「まつもと市民芸術館」の開業準備に携わり、開場後はプロデューサー兼支配人として運営、制作業務を行う。
- ・2006 年 10 月より(公財)埼玉県芸術文化振興財団(「彩の国さいたま芸術劇場」)に移り、業務執行理事兼事業部長に就任。現在はゼネラルアドバイザー。

【主なプロデュース作品】

＜銀座セゾン劇場＞

1987 年 オペラ海外招聘「カルメンの悲劇」(ピーター・ブルック演出)

＜シアターコクーン＞

1994 年 コクーン歌舞伎「東海道四谷怪談」(中村勘九郎のち勘三郎)

1999 年 「パンドラの鐘」(野田秀樹・作 蜷川幸雄・演出 大竹しのぶ 勝村政信 松重豊)

2000 年 「キレイ」(松尾スズキ・作・演出)

「ギリクス」(蜷川幸雄・演出 平幹二郎 白石加世子 尾上菊之助 寺島しのぶ 中島朋子 田辺誠一 吉田鋼太郎)

2002 年 「欲望という名の電車」(テネシー・ウィリアムズ・作 蜷川幸雄・演出 大竹しのぶ 堤真一)

資料

「オイディプス王」(ソポクレス・作 蜷川幸雄・演出 野村萬斎 麻美れい)
2003年 「桜の園」(チェーホフ・作 蜷川幸雄・演出 麻美れい 香川照之)
「ニンゲン御破産」(松尾スズキ・作・演出 中村勘九郎 阿部サダオ
宮藤官九郎)

<まつもと市民芸術館>

2005年 「コーカサスの白墨の輪」(ブレヒト・作 串田和美・演出 松たか子 谷原章
介)

<彩の国さいたま芸術劇場>

2006年～ 彩の国シェイクスピア・シリーズ(蜷川幸雄・演出) 2022年 37作完結
2006年より蜷川幸雄芸術監督の元、高齢者演劇集団「さいたまゴールド・シアター」を結
成、少子高齢化社会を迎えたタイミングも重なり大きな反響を呼ぶ。パリ、香港、ルーマ
ニア、ロンドン、東京などの国際フェスティバルにも招かれる。2021年、惜しまれながら解
散となる。

2018年 世界ゴールド祭開催(イギリス、オーストラリア、シンガポールから参加)

